

第3章

うるま市の目指す将来像

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18

3-1 うるま市の目指す将来像

本市の目指す将来像とは、本市がこれからどのような環境を目指して環境施策を推進していくかを示す長期的な目標です。

「うるま市環境基本計画」では、『人と歴史が奏でる快適で自然豊かなまち、うるま市』を望ましい環境像としてその実現に向けた環境施策を推進してきました。「第2次うるま市環境基本計画（地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」においては、これまでの取組を継承するとともに、脱炭素・循環型社会の推進や、市民一人ひとりが地球環境や将来世代に配慮した行動を実践することで、環境負荷の少ない持続可能な社会づくりを進め、多様な自然環境と調和した豊かな暮らしを将来世代に引き継ぐ都市を目指すものとしします。

住むひと、訪れるひと、すべてに“感動”をあたえる美しいまち うるま

3-2 基本目標

本計画では、本市の望ましい将来像の実現に向けて基本目標を設定し、目標ごとの施策の展開と、市、事業者、市民等の役割を明らかにします。

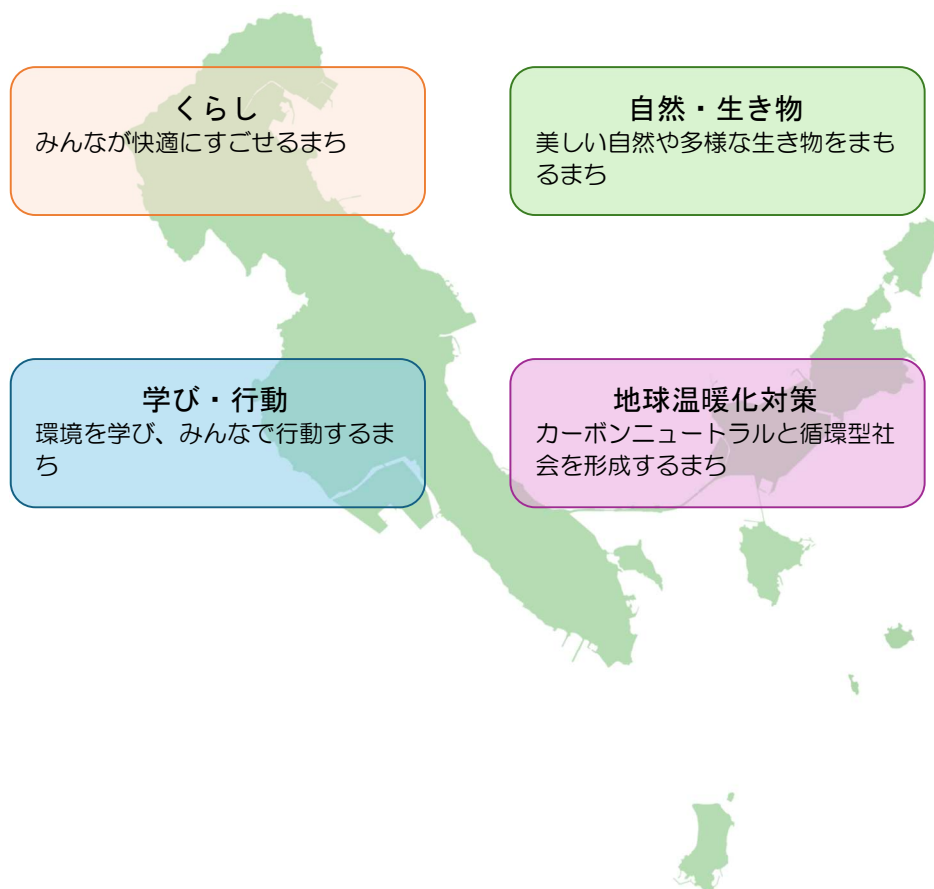


図 3-2.1 環境分野ごとの基本目標

3-3 うるま市環境基本計画の施策体系

将来の環境像及び各環境分野の基本目標を達成するため、以下の施策体系を定めます。

表 3-3.1 うるま市環境基本計画の施策体系

施策体系					
目指す将来像	分野	目標	方針	主な施策	リーディングプロジェクト (重点施策)
美しいまち 住むひと、訪れるひと、すべてに“感動”をあたえる	くらし	みんなが快適にすごせるまち	大気汚染の防止、水質の保全、悪臭対策に努めます ゴミの排出を抑え、循環型社会の形成につとめます	・大気汚染の監視・測定 ・生活排水処理対策の推進 ・騒音・振動・悪臭対策の推進 ・ごみの排出抑制・分別等の徹底 ・食品ロスに関する啓発活動 ・リユース等を軸とした4Rの啓発活動 ・ゼロ・エミッション等の普及啓発	うるまエコチャレンジプロジェクト ○ごみ排出量最小自治体への挑戦 ○うるま4R活動推進協定
	自然生き物	美しい自然や多様な生物をまもるまち	美しい自然やみどり、多様な生き物をまもります	・公園の保全 ・景観づくりの推進 ・緑地の保全・推進 ・海岸・河川の美化 ・海洋ごみ対策の推進 ・自然生体系の保全や外来種対策の推進 ・墓地の適正化の検討	うるま海とみどりのプロジェクト ○緑化の推進 ○海を守るプロジェクト
	学び行動	環境を学び、みんなで行動するまち	ひとりひとりが環境を学び、考え、行動するところを育みます	・環境に関する普及啓発活動 ・環境イベント・環境講座・自然観察会の推進 ・地域活動の組成、活動の促進	うるまサステイナブルプロジェクト ○自然観察会の実施 ○自治会、環境団体の表彰
	地球温暖化対策	カーボンニュートラルと循環型社会を形成するまち	暮らし・事業活動・建物の脱炭素化をすすめます 気候変動による影響への対応を推進します	・再生可能エネルギー、新エネルギーの導入推進 ・公共施設・住宅・事業所の省エネ化 ZEB・ZEH化の促進 ・自転車・電気自動車の利用促進 ・防災・減災対策の推進 ・熱中症対策の推進・啓発 ・農業生産への影響の低減	うるまゼロカーボンプロジェクト ○カーボンニュートラルシティー宣言の実施・施策の展開

【目指す将来像】 住むひと、訪れるひと、すべてに“感動”をあたえる美しいまち うるま

基本方針1
みんなが快適に
すごせるまち

基本方針2
美しい自然や
多様な生物を
まもるまち

基本方針3
環境を学び、
みんなで
行動するまち

基本方針4
カーボン
ニュートラルと
循環型社会を
形成するまち

